

2019年5月8日  
四国電力株式会社

2018年度決算 会社説明会での主な質疑応答

- Q. 2019年度の需要見通しにおいて、前年に比べて販売電力量の減少率が縮小している要因は何か。
- A. 前年の2018年度における販売電力量が、離脱だけではなく、暖冬影響により、大きく減少していることが主な要因となっている。
- Q. 2019年度通期業績予想において、燃料費調整制度のタイムラグ影響ほどの程度か。
- A. +30億円程度とみている。
- Q. 中期経営目標のROA3%に対して足元の水準が低い要因は。
- A. 中期経営計画策定時に比べ、電力全面自由化の影響が想定以上に大きいことが主な要因となっている。
- Q. 今後の配当に対する考え方は。
- A. 2019年度の配当見通しは、業績予想等を踏まえ、1株あたり30円に据え置くこととしたが、1株あたり配当額50円の実施を目指す方針に変わりはない。

以 上